

東京女子大学大学院博士前期課程

2025年度一般(9月期)

入学試験問題

人間科学研究科 人間社会科学専攻

臨床心理学分野

専門科目(解答用紙4枚)

外国語(英語)(解答用紙1枚)

※

受験
番号

※記入しないこと

東京女子大学大学院(博士前期課程)

2025 年度入学試験 一般 9 月期

人間科学研究科 人間社会科学専攻 臨床心理学分野 専門科目 試験問題 1/4

問題1

以下の(1)～(4)の問に答えなさい。

- (1)層別相関について、具体例を示しながら説明しなさい。
- (2)標本分布について、以下の語句を全て用いて説明しなさい。
標準誤差、母集団分布、標本統計量
- (3)適合度の検定について、以下の語句を全て用いて説明しなさい。
期待度数、カイ2乗分布、カテゴリ
- (4)重回帰分析について、以下の語句を全て用いて説明しなさい。
多重共線性、決定係数、標準偏回帰係数

※

受験
番号

※記入しないこと

東京女子大学大学院(博士前期課程)

2025 年度入学試験 一般 9 月期

人間科学研究科 人間社会科学専攻 臨床心理学分野 専門科目 試験問題 2/4

問題 2

以下の(1)～(4)の語句について説明しなさい。

- (1) CHC 理論
- (2) 地域包括ケアシステム
- (3) アドボカシー
- (4) 感情の二要因論

※

受験
番号

※記入しないこと

東京女子大学大学院(博士前期課程)

2025 年度入学試験 一般 9 月期

人間科学研究科 人間社会科学専攻 臨床心理学分野 専門科目 試験問題 3/4

問題 3

次の文を読んで、以下の(1)～(4)の問に答えなさい。

アメリカのカリフォルニア州パロアルトに(①)が 1959 年設立した(②)は、以後の家族臨床や家族研究の拠点のひとつとなった。(①)は、Bateson, G., Haley, J., Weakland, J. H.とともに、統合失調症患者家族の観察からダブルバインドを指摘した。

(1)(①)および(②)にあてはまる語句を入れなさい。

(2)(②)における家族臨床や家族研究の展開について述べなさい。

(3)ダブルバインドと統合失調症の関連について述べなさい。

(4)ICD-10 における統合失調症の亜型のうち一つを取り上げそれについて説明しなさい。

※

※記入しないこと

受験 番号	
----------	--

東京女子大学大学院(博士前期課程)

2025 年度入学試験 一般 9 月期

人間科学研究科 人間社会科学専攻 臨床心理学分野 専門科目 試験問題 4/4

問題4

成人の心理療法のためのアセスメントと心理療法の効果に関する以下の問に答えなさい。

(1) 心理療法に導入する前に、クライアントの主訴をふまえたアセスメント面接がなされる。①精神分析的(力動的)心理療法におけるアセスメントの特徴、②認知行動療法におけるアセスメントの特徴について、それぞれ以下の【 】にある言葉すべてを用いて説明しなさい。

①精神分析的(力動的)心理療法:【対象関係、転移、自我の防衛パターン】

②認知行動療法:【自動思考、感情、機能分析】

(2) パーソナリティのアセスメントのためのテストバッテリーを検討するとき、どのようなテストバッテリーを組むかを、具体的な心理検査名を挙げて述べなさい。また、そのようなバッテリーにした意図を説明しなさい。

(3) 心理療法の効果について学派間の比較をする場合にどのような困難があるか、複数取り上げて述べなさい。

(4) 心理療法の効果は学派や技法の違いよりも、他の要因の方が大きいことがメタ分析によって明らかになっている。それはどういうものかを述べ、その結果が示唆することについて論じなさい。

※

受験
番号

※記入しないこと

東京女子大学大学院(博士前期課程)

2025 年度入学試験 一般 9 月期

人間科学研究科 人間社会科学専攻 臨床心理学分野 外国語(英語) 試験問題 1/3

<辞書 1 冊使用可 電子辞書は使用不可>

問題 英文を読んで (1) ~ (5) に答えなさい

著作権の関係上、省略します。

※

受験
番号

※記入しないこと

東京女子大学大学院(博士前期課程)

2025 年度入学試験 一般 9 月期

人間科学研究科 人間社会科学専攻 臨床心理学分野 外国語(英語) 試験問題 2/3

<辞書 1 冊使用可 電子辞書は使用不可>

著作権の関係上、省略します。

※

受験
番号

※記入しないこと

東京女子大学大学院(博士前期課程)

2025 年度入学試験 一般 9 月期

人間科学研究科 人間社会科学専攻 臨床心理学分野 外国語(英語) 試験問題 3/3

<辞書 1 冊使用可 電子辞書は使用不可>

著作権の関係上、省略します。

出典：Attachment in Adulthood : Recent Developments, Emerging Debates, and Future Directions by R. Chris Fraley, Annual Review of Psychology, 2019.
Copyright © 2019 by Annual Reviews, Inc. Reprinted by permission of Annual Reviews, Inc.

- (1) 下線① “thriving”はどのような状況で起こるものですか。
- (2) 下線② “SOS role”の特徴について、この文章ではどのように説明されていますか。
- (3) 下線③ “relational catalyst support”とはどういうことですか。
- (4) “One potential challenge for the model”について、この文章ではどのように論じられていますか。
- (5) (A) (B)に入る言葉を以下から選び、番号で答えなさい。順番は問いません。
 - 1 buffering support 2 anxious response 3 safe haven 4 social figure
 - 5 secure base 6 avoidant coping 7 strange situation 8 inner frame